



BNI 三重リージョン ニュースレター

【2018年12月号】

【BNI 公式ポッドキャストより】

名札の活用法

プリシラ：みなさんこんにちは。今日も BNI の創立者兼チーフ・ビジョナリー・オフィサーのアイヴァン・マイズナー博士と電話がつながっています。アイヴァン、こんにちは。ご機嫌いかがですか。そして、今日はどちらにおいでですか？

アイヴァン：今週は BNI の国際会議でカリフォルニアのロングビーチにいます。約 750 人の BNI ディレクターが世界中から参加しています。国連のミーティングみたいですね。本当に素晴らしい光景です。

プリシラ：本当ですね。私も出席したことがあります。素晴らしかったです。

アイヴァン：今日はゲストをお招きしています。ティファニー・ケログさんです。私のブログ、ivanmisner.com のビデオに出演してくれる素晴らしいゲストの一人です。Referral Institute のイベントがあると、ティファニーにはいつもビデオでゲスト出演してもらいます。今日はポッドキャストにお招きしました。

ティファニーは Referral Institute に所属する、プロのスピーカー、コーチ、ファシリテーターです。メンバー・サクセス・プログラムのトレーニングがフロリダ州のタンパで始まって以来 9 年間、Referral Institute と BNI でトレーニングを担当しています。ティファニー、BNI のポッドキャストへようこそ。

ティファニー：今日はお招き頂いてありがとうございます、アイヴァン。

アイヴァン：こちらこそ。素晴らしい本を出版しましたね。とても気に入っています。「Four and a Half Networking Mistakes (ネットワークングではいけない、4つと半分のこと)」。素晴らしいタイトルです。誰もが尋ねる最初の質問は、「してはいけない半分のこと」って何？でしょう。今日はあえて尋ねません。そして、私も言いません。ですので、本を

買って、「してはいけない半分のこと」が何かを見つけてください。私は知っています。「してはいけない半分のこと」が何を指すのか知っていますが、とても面白いものです。

ぜひ、この本を手にとってみてください。本の入手方法は後でお話しするとして、今日はネームバッジの話をしてします。BNI メンバーはみなバッジをつけますが、「チーチ&チョン」ではありません。あなたは若いのでチーチ&チョンを知らないかもしれませんが「バッジだって？そんなものいるか、バカヤロー」というやつです。BNI では必要です。でも、時としてバッジの使い方を間違っているかもしれません。間違った使い方とは？あるいはその活用法とは？それを教えてください。

ティファニー：BNI がバッジの着用を推奨しているのは、とても良いことだと思います。その人の名前が分かれば話しかけやすくなりますから。しかし、技術が進歩してきれいな名刺を容易に作れるようになるにつれて、名刺に書かれた名前の字は小さくなり、すぐに見つけられないことも度々あります。

アイヴァン：そうですね。特に、白髪が増えてくるとそうです。あなたとは違って、ティファニー、私は白髪がたくさんありますから。名前を読むのがどんどん難しくなっています。前のめりになって、バッジを間近でのぞき込むのも変ですからね。

ティファニー：私にとっても—名刺にそもそも名前が書かれていないことがあったり、見つけるのがとても難しいことがあります。名札の役割は自分の名前を相手に見せることです—特に、新しいメンバーにとってはね。名前を忘れてしまったとしても、気まずくならないで済みます。それに、顔と名前を一緒に覚えられます。ですので、名札の名前はちゃんと読めるものにしなければなりません。

アイヴァン：BNI の名札ケースを作ったので、名刺をそこに挟み込むだけで名札ができます。でも、昔はそこに書かれている名前がもっと大きかったと思います。ひょっとして白髪が増えてきてそう感じているのかもしれませんが、でも—

ティファニー：いえいえ、そんなことはありません。技術が進歩して、名刺にいろいろ書き込む人が増えています。それが容易にできますから。かつては、名刺はどれも同じ色でした。電話番号、会社の名前、そして自分の名前が分かりやすく書かれていました。でも、BNI の創立以来、名刺は大きく変わってきています。

アイヴァン：私は BNI の名札ケースに名刺を入れません、意味のあることだと思っています。ワードで名札を作り、それを挟み込んでいます。私の名前がわかり、私が誰だか分

かってもらえます。しかし、今日の話はそれだけではありませんね。名前が見えるだけではなくて、クリエイティブにすると。あまり聞かない名前です。ティファニー・ケロッグ、MMST。これで合っていますか？

ティファニー：そのとおりです。

アイヴァン：もちろん、それを見たら「これは何ですか？」と聞きたくなります。

ティファニー：そうしてもらえたら、まさに願ったりかなったりです—名札を見て、そんな返事してもらえたら。興味をもってもらえる名札、会話を始めるための名札、と呼ぶと良いかもしれません。名前を載せるだけではなく、見た人に「どんなことをしているの？」と尋ねてもらえるような何かを載せることにしています。「ティファニー、MMSTって何？」と聞いてもらえたら、私がお金を稼ぎ、時間を節約する方法を教えているということを、その人に話す機会が生まれます。

アイヴァン：なるほど、「お金を稼ぎ、時間を節約する (make money and save time)」でMMSTだと。

ティファニー：そうです。私はイニシャルを使っています。会話を始めるためのイニシャルです。でも、これだけで終わることを意図しているわけではありません。MMSTの意味を言うと、「え、それってどうやるの？」と聞いてくれます。すると、自分がどんなことをしているのか、相手に話す機会がやってくるわけです。

アイヴァン：とても好きなコンセプトです。まず、ちゃんと名前を読んでもくれるような名札にして、加えてどんなことであれ、それを見る人の注意を引くようなことを書いておく。素晴らしいコンセプトですね。これは、4つと半分のテクニックの一つでしたね？

ティファニー：名札の話も「**Four and a Half Networking Mistakes** (ネットワーキングではいけない、4つと半分のこと)」の中で述べています。名札に載せる会社のロゴ、職業もです。ありがちなのが、名札に不動産業者、弁護士、投資家、と書かれているのを見て、他に同じ職業の人ってどんな人がいたっけ？と考えてしまうことです。自分の知り合いで誰が同じことをしていたっけ？と。同じ職業を持つほかの人を基準に、その人を判断してしまうわけです。この「興味をもってもらえる名札」を使うのが好きな理由は、自分自身をユニークに紹介する機会をつくれることです。そしてそこから、自分がしていることの何を周りの人に知ってほしいか、というところにつなげることができます。

アイヴァン：なるほど。このポッドキャストを聴いている BNI のメンバーには、具体的にどんな名札を作ることを勧めますか？グループに来るのは必ずしも BNI メンバーだけではなく、たくさんのビジターもいます。自分のことをビジターに紹介しなければなりません。お勧めはどんなことですか？

ティファニー：ビジターとしてシールに名前を書いているにしろ、BNI の名札ケースに入れているにしろ、一言か二言、もしくは写真、あるいは MMST、逆さ読みの単語でも良いですが—何がしか人目を引くもの、どういう意味？と尋ねられるようなものを書き込むことをお勧めします。

内容の変更もためらわないで下さい。私は 3 ヶ月から 6 カ月おきに新しい名札にするのが好きです。すると、メンバーに「おやティファニー、そろそろ聞いておかなくちゃいけない。どんなことをしているのだけ？」と聞いてもらえます。周りの人たちに、自分がその人の人生をどう変えてあげられるか、ということを伝える機会が、また訪れるわけです。

アイヴァン：プリシラ、以前話をしたことがあると思いますが、サム・ホーンが提唱しているアイブロー・テストというコンセプトがあります。聞いたことがありますか？

ティファニー：はい、あります。

アイヴァン：とても好きなテストです。ここで出てきたのは、まさにアイブロー・テストに合格できるような話ですね。どんなものかというと、人の前で何かをしたり、言ったりして、相手の眉が上がったら、それは「どういうことですか？もっと教えてください」というサインです。一方で、相手が渋い顔をしたら—これは本を書いたサム・ホーンという言葉ですが「あれっ」となります。相手が渋い顔をするということは、困惑しているということです。「それはどういうことですか？」と。全く同じセリフですが、ニュアンスは違います。

今日の話は、まさにアイブロー・テストに合格できる話です。素晴らしい本を書かれました。ところで、本の中で私のことにも言及して頂き、ありがとうございます。感謝しています。

書かれた本「**Four and a Half Networking Mistakes, Maximizing Your Networking Efforts by Avoiding Common Mistakes** (ネットワークングではいけない、4つと半分のこと 失敗を減らし、ネットワークングを最大限に活用する)」の中から、もう一つだけありがちな失敗を紹介してもらいましょうか。そして最後に、リスナーの皆さんにウェブ

サイトのアドレスをお伝えしたいと思います。

ティファニー：もう一つありがちな失敗を挙げるなら「半分」というのはとても興味をそそるところなので、これについては明らかにしませんが「ネットワーキングでしがちな失敗の一つは、人と会うととにかく名刺を渡してしまうことです。

ネットワーキングイベントに出席しているとします。私はこれを対面でのスパムと呼んでいます。頼んでもいないのに、スパムメールのように名刺を渡されることがあります。自分のメールボックスにスパムメールは不要です。同様に、とりあえず渡されてしまうこういった名刺も、不要です。

アイヴァン：確かに、よくあることです。「ネットワーキングでしてはいけない4つと半分のこと」、それに「ネットワーキングの19の真実」が気になる方は、ティファニーの本を手にとってみてください。ティファニー、この本はどこで入手できますか？

ティファニー：アマゾンで、キンドル版と手元に置いておけるペーパーバック版が購入可能です。

アイヴァン：ティファニーが出演している私のブログを見たい方は、IvanMisner.com へおいってください。ティファニーの名前で検索できます—最後に ie がつく [Tiffanie](http://Tiffanie.com) です。ティファニー・ケログです。ウェブサイトもあります。TiffanieKellog.com です。ティファニー、今日は BNI のポッドキャストに出演して頂いてありがとうございました。感謝します。

ティファニー：お招き頂きありがとうございました。

アイヴァン：プリシラ、後をよろしくお願いします。

プリシラ：素晴らしい話でした。今日はここまでですね。お二方、どうもありがとうございました。繰り返しになりますが、このポッドキャストは、NetworkingNow.com がお届けしています。NetworkingNow.com は、ネットワーキング関連のダウンロードコンテンツを提供する、業界屈指のウェブサイトです。お聴きいただき、ありがとうございます。プリシラ・ライスでした。また来週、BNI 公式ポッドキャストの楽しいエピソードでお会いできるのを心待ちにしています。

【BNI 三重リージョン ディレクターより】

2018 年が終わりますね。今年は皆様にとって、どんな 1 年だったのでしょうか？

BNI 三重リージョンにとっては、、、リージョン全体にとっては足踏みの 1 年でした。メンバー数が増えていないのが、そう判断する理由です。

ただ、皆様にとって BNI が貢献できる 1 年になったのであれば幸いです。トレーニングやチャプターサポートを充実させることによって、さらに BNI を活用いただける 2019 年にしたいと思います。

【編集者より】

自分の名前は勿論大切ですが、会話の、ビジネスのキッカケとしてどうしたら初めての相手に興味を持ってもらえるか・・・面白いアイディアのお話でした。今年は満足いく結果を出せた一年だったのでしょうか？いつもと違う一年にしたい方は是非年始のスタートに名札を一工夫してみてはいかがでしょうか？来年も皆様にとって素敵な一年になりますように。